



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月10日

上場会社名 シンデン・ハイテックス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3131 URL <https://www.shinden.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 淳
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田村 祥 TEL 03-3537-0101
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	19,560	100.4	1,239	400.5	921	533.0	635	513.4
2026年3月期第1四半期	9,762	2.5	247	8.7	145	—	103	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 637百万円 (691.4%) 2026年3月期第1四半期 80百万円 (212.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	337.04	—
2026年3月期第1四半期	54.94	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	34,227	7,860	23.0	4,169.99
2026年3月期	22,134	7,467	33.7	3,961.12

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 7,860百万円 2026年3月期 7,467百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	130.00	130.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	235.00	235.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2026年8月10日）公表いたしました「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,000	84.5	4,000	275.1	3,000	472.7	2,000	468.2	1,061.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。連結業績予想の修正については、本日（2026年8月10日）公表いたしました「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2027年3月期1Q	2,110,200株	2026年3月期	2,110,200株
2027年3月期1Q	225,281株	2026年3月期	225,081株
2027年3月期1Q	1,884,919株	2026年3月期1Q	1,885,158株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資、輸出が持ち直し、企業収益は改善の動きがみられました。また、生産は横ばいで推移し、雇用情勢は改善の動きがみられるなど、景気は緩やかな回復が続いております。一方で、物価の上昇、中東情勢の影響や金融資本市場の変動等による景気下押し懸念により、先行き不透明な状況にあります。

当社グループが属するエレクトロニクス業界においては、生成AIの普及を背景としたデータセンター等への投資拡大や半導体市況の回復により、全体として持ち直しの動きがみられる一方で、メモリー及びAI関連用途を中心とした成長の偏在や、供給制約に起因する価格上昇等により、市場の動向は用途分野ごとに異なる展開となっております。こうした状況は、従来のような市況連動型からの変化を示しており、IT・高付加価値・産業設備といった領域ごとに収益構造の差が顕在化しつつあり、半導体・エレクトロニクス商社各社においてもビジネスモデルの違いが業績差として表出する局面にあるとみております。

このような情勢の下、当社グループは、半導体市況の影響を一定程度受ける構造にあるものの、システム製品分野を中心とした付加価値領域の拡大が進展しております。こうした事業構造を踏まえ、市況変動への耐性強化による持続的成長と資本効率の向上との両立を図り、中期経営計画に基づき強靱な収益基盤の確立に取り組んでまいります。

当第1四半期連結累計期間における販売面は、半導体製品分野を除く他の分野がおおむね当初の想定どおり推移する中、半導体製品分野において、メモリー関連商材の価格上昇を背景とした市場環境の改善に加え、新規ビジネスの立ち上がりや顧客需要の取り込みが進んだことから、当四半期の業績を牽引する構造となり、売上高は増加しました。なお、当該半導体製品分野の伸長には市場環境による追い風が含まれる一方で、調達機能を活用した製品確保や新規案件の獲得も寄与しております。利益面は、販売費及び一般管理費が、事業拡大に伴う各種費用の増加に加え、貸倒引当金繰入額の計上等により増加したものの、増収効果による売上総利益の伸長がこれを上回ったことから、営業利益は増益となりました。また、営業外費用では為替差損及び支払利息が増加したものの、営業利益の増加がこれを吸収したことから、経常利益以下の段階利益も前年同四半期を上回りました。

その結果、売上高は195億60百万円（前年同四半期比100.4%増）、営業利益は12億39百万円（前年同四半期比400.5%増）、経常利益は9億21百万円（前年同四半期比533.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億35百万円（前年同四半期比513.4%増）となりました。

品目別売上高は、次のとおりであります。

品目別	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)		増減率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
半導体製品	6,047,241	61.9	15,734,388	80.4	160.2
ディスプレイ	1,850,772	19.0	1,667,469	8.5	△9.9
システム製品	1,454,715	14.9	1,822,537	9.3	25.3
バッテリー&電力機器	338,837	3.5	184,943	1.0	△45.4
その他	71,210	0.7	151,203	0.8	112.3
合計	9,762,777	100.0	19,560,542	100.0	100.4

(注) 当社グループの事業は、半導体製品等の電子部品や電子機器の販売という単一事業であるため、品目別の売上高を記載しております。

・半導体製品分野

メモリー関連商材の価格上昇を背景とした市場環境の改善に加え、新規ビジネスの立ち上がり及び顧客需要の取り込みが進んだことから、大幅な増収となりました。なお、当該分野の伸長には市況改善による追い風が含まれる一方で、調達機能を活用した製品確保や新規案件の獲得も寄与しており、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績を牽引しました。

・ディスプレイ分野

PC関連需要が一巡した影響により、液晶モジュールビジネスを中心に販売が減少したことから、減収となりました。一方で、産業機器向けについては一部で堅調な推移も見られており、需要動向を注視しながら販売活動を継続しております。

- ・システム製品分野

検査等装置やA I サーバー等の関連機器、B o a r d 製品等が堅調に推移したことから、増収となりました。EMS（Electronics Manufacturing Service：製品の開発・生産を受託するサービス）ビジネスは、なお調整局面にあるものの、中期的な成長領域として、案件の積み上げが進んでいると認識しております。

- ・バッテリー&電力機器分野

主力であった家庭用E S S（Energy Storage System：電力貯蔵システム）向けリチウムイオン電池ビジネスが終息局面にあることから、減収となりました。一方で、その他の電池関連及び電力機器関連ビジネスは着実に進捗しており、当分野において販売構成の転換を進めております。

- ・その他分野

省エネルギーや環境負荷低減に資する商材等の販売が好調に推移したことから、増収となりました。当社グループでは、環境関連分野を含む新たな事業機会の開拓にも継続して取り組んでおります。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

（日本）

当第1四半期連結累計期間は、半導体製品分野におけるメモリー関連商材の価格上昇を背景とした市場環境の改善に加え、新規ビジネスの立ち上がりや顧客需要の取り込みが進んだこと、また、システム製品分野において高付加価値商材が堅調に推移したことから、売上高は182億90百万円（前年同四半期比98.0%増）となりました。利益面につきましても、売上総利益の増加が販売費及び一般管理費の増加を吸収したことから、セグメント利益は11億49百万円（前年同四半期比340.6%増）となりました。

（海外）

当第1四半期連結累計期間は、メモリー関連商材の価格上昇を背景とした市場環境の改善が進んだことから、半導体製品分野が大きく伸長し、売上高は12億70百万円（前年同四半期比141.6%増）となりました。利益面につきましても、販売拡大による売上総利益の増加により、セグメント利益は65百万円（前年同四半期は7百万円のセグメント損失）となり、黒字転換しました。

（2）当四半期の財政状態の概況

① 資産

総資産は342億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ120億92百万円(54.6%)増加しました。主な要因は、売掛金が70億85百万円(84.9%)、前渡金が33億84百万円(261.4%)、商品が19億90百万円(39.9%)増加したことによるものであります。

② 負債

負債は263億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ116億99百万円(79.8%)増加しました。主な要因は有利子負債が81億16百万円(70.2%)、買掛金が25億13百万円(95.0%)増加したことによるものであります。

③ 純資産

純資産は78億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億92百万円(5.3%)増加しました。主な要因は、利益剰余金が3億90百万円(7.8%)増加したことによるものであります。

④ 経営指標

流動比率は、買掛金、短期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ22.7ポイント減少し130.1%となりました。自己資本比率は、有利子負債の増加等により、前連結会計年度末に比べ10.8ポイント減少し23.0%となりました。有利子負債対純資産比率は2.5倍となり、前連結会計年度末と比べ1.0ポイント増加しました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、半導体製品分野におけるメモリー関連商材の価格上昇に加え、新規ビジネスの進展が想定を上回って推移していることから、売上高及び各段階利益ともに当初計画を上回る見込みであります。一方、半導体製品分野を除く他の商品分野につきましては、概ね当初想定どおりに推移しており、商品分野間で進捗に差が見られる状況にあると認識しております。これらの状況を踏まえ、2026年8月10日に公表いたしました「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、通期連結業績予想を修正しております。

なお、当該上振れは、半導体製品分野における市況の改善と新規ビジネスの立ち上がりが重なった結果によるものです。その持続性については半導体の価格及び需給の動向を慎重に見極める必要があり、現時点では業績の進捗もこれらの影響を一定程度受ける状況にあることから、今後も分野ごとの状況を注視してまいります。

また、足元の市場環境には、需要の前倒しや用途別成長の偏在、供給制約等の不安定な要素も含まれております。こうした状況を踏まえ、開示すべき事項が判明した場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,989,005	6,540,902
電子記録債権	85,302	63,339
売掛金	8,346,562	15,432,084
商品	4,985,284	6,975,792
前渡金	1,294,602	4,678,925
その他	158,891	292,319
貸倒引当金	△169,505	△303,720
流動資産合計	21,690,143	33,679,642
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品（純額）	8,511	7,392
土地	5,000	5,000
建設仮勘定	79,200	158,400
その他（純額）	4,842	4,712
有形固定資産合計	97,553	175,504
無形固定資産		
ソフトウェア	3,917	3,490
権利金	70,000	70,000
その他	1,311	1,311
無形固定資産合計	75,229	74,801
投資その他の資産		
投資有価証券	35,000	35,000
差入保証金	50,893	50,471
繰延税金資産	181,079	207,036
その他	5,000	5,000
投資その他の資産合計	271,972	297,507
固定資産合計	444,755	547,813
資産合計	22,134,898	34,227,455
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,645,874	5,159,517
短期借入金	11,031,720	19,162,020
1年内返済予定の長期借入金	52,184	30,496
未払法人税等	39,436	334,132
賞与引当金	83,616	34,604
前受金	123,330	873,665
その他	211,121	285,699
流動負債合計	14,187,284	25,880,135
固定負債		
長期借入金	479,640	487,170
その他	797	61
固定負債合計	480,437	487,231
負債合計	14,667,722	26,367,367
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,438,519	1,438,519
資本剰余金	1,418,499	1,418,499
利益剰余金	5,017,584	5,407,817
自己株式	△486,543	△486,543
株主資本合計	7,388,060	7,778,293
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	79,115	81,795
その他の包括利益累計額合計	79,115	81,795
純資産合計	7,467,175	7,860,088
負債純資産合計	22,134,898	34,227,455

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	9,762,777	19,560,542
売上原価	8,958,950	17,586,383
売上総利益	803,827	1,974,159
販売費及び一般管理費	556,093	734,277
営業利益	247,733	1,239,882
営業外収益		
受取利息	1,769	4,694
その他	180	1,698
営業外収益合計	1,950	6,393
営業外費用		
支払利息	70,620	173,877
債権売却損	7,698	565
為替差損	25,823	150,395
その他	—	94
営業外費用合計	104,142	324,933
経常利益	145,541	921,342
特別利益		
関係会社清算益	19,455	—
特別利益合計	19,455	—
税金等調整前四半期純利益	164,996	921,342
法人税、住民税及び事業税	3,553	313,233
法人税等調整額	57,868	△27,189
法人税等合計	61,422	286,043
四半期純利益	103,573	635,298
親会社株主に帰属する四半期純利益	103,573	635,298

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	103,573	635,298
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△22,962	2,679
その他の包括利益合計	△22,962	2,679
四半期包括利益	80,611	637,978
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	80,611	637,978
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,236,903	525,874	9,762,777	—	9,762,777
セグメント間の内部売上高 又は振替高	380,607	—	380,607	△380,607	—
計	9,617,510	525,874	10,143,385	△380,607	9,762,777
セグメント利益又は損失（△）	260,830	△7,846	252,983	△5,250	247,733

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、未実現損益の消去等によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,290,108	1,270,433	19,560,542	—	19,560,542
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,290,108	1,270,433	19,560,542	—	19,560,542
セグメント利益	1,149,193	65,803	1,214,996	24,885	1,239,882

(注) 1. セグメント利益の調整額は、未実現損益の調整によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	3,093千円	1,676千円